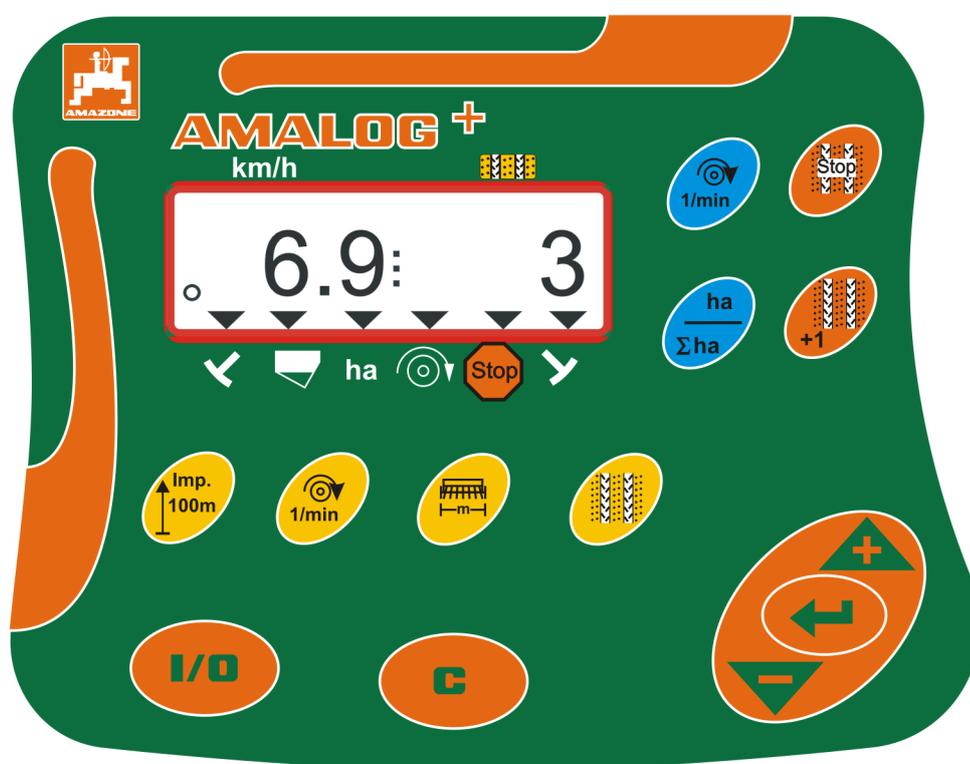


取扱説明書

AMAZONE

操作端末

AmaLog+



MG4927
BAH0017.7 05.2020

初期設定を行う前に、
本取扱説明書を
よくお読みください！
今後必要になる場合に備え、大切に保管してください！

ja





識別データ

操作端末 AMALOG+

メーカーの所在地

AMAZONEN-WERKE
H. DREYER SE & Co. KG
Postfach 51
D-49202 Hasbergen / Germany
電話 : + 49 (0) 5405 50 1-0
E-mail: amazone@amazone.de

交換部品の注文

交換部品のリストは、www.amazone.de の交換部品ポータルで自由に閲覧可能です。

担当の AMAZONE 代理店にご注文ください。

本取扱説明書についてのデータ

文書番号 : MG4927

編集日 : 05.2020

© Copyright AMAZONEN-WERKE H. DREYER SE & Co. KG, 2020

All rights reserved.

AMAZONEN-WERKE H. DREYER SE & Co. KG の許可なく本書の一部または全部を複製することを禁じます。

はじめに

顧客の皆様

このたびは、弊社 AMAZONEN-WERKE, H. DREYER SE & Co. KG の高品質で豊富な製品の中から当機をお選びいただき、ありがとうございます。そのご信頼に対し深く御礼申し上げます。

初期設定を行う前に、本取扱説明書（特に安全に関する注意事項）をよく読み、十分に理解してください。



1	ユーザー向けの情報	7
1.1	本書の目的	7
1.2	本取扱説明書での位置の記載	7
1.1	使用している記号	7
2	一般的な安全上の注意事項	8
2.1	義務と責任	8
2.2	通常の安全対策	8
2.3	ユーザーの操作場所	8
2.4	安全を重視した作業	9
2.5	製品の取り扱い	9
2.6	安全に関する記号の意味	10
3	製品の説明	11
3.1	意図された用途での使用	12
3.2	CE マーク	12
4	構造と機能	13
4.1	ダイレクトシードドリル DMC Primera (プリメーラ) の運転	13
4.2	ロータリーカルチベータの運転	13
4.3	シードドリルの運転	14
4.3.1	カムホイールシードドリルの運転	14
4.3.2	空圧式シードドリルの運転	15
4.4	作業表示	16
4.5	キーの割り当て	18
4.6	トラムライン作成	19
5	運転開始	22
5.1	操作端末の取り付け	22
5.2	操作端末の接続	22
5.3	操作端末の ON/OFF	23
6	設定	24
6.1	機械データの入力	24
6.2	作業幅の表示 / 変更	25
6.3	規定ファン回転数の表示 / 変更 (停止時)	25
6.4	規定ファン回転数の表示/変更 (作業中)	26
6.4.1	トラムラインリズムの表示/変更	26
6.5	キャリブレーション値 (100 m あたりインパルス)	27
6.5.1	キャリブレーション値 (100 m あたりのインパルス) の検出 / 保存	27
6.5.2	保存されたキャリブレーション値 (100 m あたりのインパルス) の表示/変更	28
6.5.3	クランク回転数をキャリブレーションテスト用に 計算	29
7	作業開始	30
7.1	トラムラインカウンタ	31
7.1.1	トラムラインカウンタの設定	31
7.1.2	トラムラインカウンタのブロック	31
7.2	作業済みエリア	32
7.2.1	部分面積の表示	32
7.2.2	部分面積メモリの削除	32
7.2.3	総面積の表示	32

7.3	作業中の表示	33
7.4	ファンクションキー	33
7.4.1	現在のファン回転数の表示	33
8	障害	34
8.1	故障表示 A3	34
8.2	故障表示 A4	34
8.3	故障表示 A5	35
8.4	故障表示 A6 (DMC Primera (プリメーラ)、Condor (コンドル) および Citan (シタン) 01 のみ)	36
9	表	37
9.1	機械データ表	37
9.2	設定可能なトラムラインリズムの表	39
9.3	キャリブレーション値 / クランク回転数の表 (基準値)	40
9.4	キャリブレーションテストのためのキャリブレーション値 / クランク回転数の表	43

1 ユーザー向けの情報

この「ユーザー向けの情報」の章では、本取扱説明書の使い方について説明します。

1.1 本書の目的

本取扱説明書は、

- 操作端末の操作について説明します。
- 安全で効率的な取り扱いについて、重要な情報を提供します。
- 操作端末を構成する一部であり、常に機械または牽引車両に保管する必要があります。
- 今後必要になる場合に備え、安全な場所に保管してください。

1.2 本取扱説明書での位置の記載

本取扱説明書に書かれている方向は、すべて進行方向を基準としています。

1.1 使用している記号

操作手順と操作結果

ユーザーが実施しなければならない操作手順には、番号が振られています。記載されている順序を必ず守ってください。操作結果は、矢印で示されています。

例：

1. 操作手順 1
- 操作手順 1 に対する機械の反応
2. 操作手順 2

リスト

順番が重要ではないリストは、黒丸で箇条書きになっています。

例：

- ポイント 1
- ポイント 2

図中の番号

丸カッコに入った数字は、図中のアイテム番号を示しています。1つめの数字は図の番号を意味し、2つめの数字はアイテムを指します。

例：（図 3/6）

- 図 3
- 位置 6

2 一般的な安全上の注意事項

本章には、操作端末を安全に操作するための、重要な情報が記載されています。

2.1 義務と責任

本取扱説明書の指示をお守りください

操作端末を安全かつ支障なく取り扱うためには、基本的な安全上の注意事項と安全規則に関する知識が必要不可欠です。

保証と賠償

弊社の「販売および納入の一般条件」が常に適用されます。これは遅くとも契約締結時までにオペレーターに提示されます。以下の1つ以上の事由に原因が求められる場合は、人的および物的損害に対する保証および賠償請求は無効となります。

- 操作端末の不適切な使用
- 操作端末の不適切な取り付けや初期設定、操作
- 初期設定、操作およびメンテナンスに関する本取扱説明書の指示を無視した場合
- 無許可での操作端末の改造。

2.2 通常の安全対策

本取扱説明書に記載のすべての安全上の注意事項に加え、一般的な各国の事故防止および環境保護に関する規則を遵守してください。

2.3 ユーザーの操作場所

本操作端末は、トラクターの運転席に座っている1人の人だけが操作できます。

2.4 安全を重視した作業

本取扱説明書に記載の安全上の注意事項に加え、各国で一般に適用される作業場での安全および事故防止規則を遵守してください。

2.5 製品の取り扱い

操作端末に、物理的振動や衝撃を与えないでください。

操作端末を落とさないでください。

ディスプレイが損傷するおそれがあるので、操作端末のディスプレイに尖った物が触れることがないようにしてください。

操作端末は、水分や湿気から保護してください。

操作端末は、ヒーターやストーブといった熱源の近くに置かないでください。

操作端末のハウジングは、絶対に開かないでください。

修理が必要な場合には、資格のある専門工場に連絡してください。

2.6 安全に関する記号の意味

安全上の注意事項は、
三角形の安全マークと目立つ警告文字によって表示されています。
警告文字（危険、警告、注意）は、危険の度合いを表し、
以下の意味があります。



危険

回避しなければ死亡または重傷（体の一部の損失または長期の傷害）
を招くことになる、差し迫った高い危険を示します。
指示に従わなかった場合、ただちに死亡または重傷を負うこととなります。



警告

回避しなければ死亡または（命にかかわる）
重い怪我を招く可能性がある、中程度の危険を示します。
指示に従わなかった場合、
死亡または命にかかわる重い怪我を負う可能性があります。



注意

回避しなければ軽傷または中程度の怪我や物的
損害を招く恐れのある低い危険を示します。



重要

機械を正しく操作するために必要な行動や、
義務付けられる特別な行為を示します。

これらの指示に従わないと、
機械の不具合や環境への悪影響を招く恐れがあります。

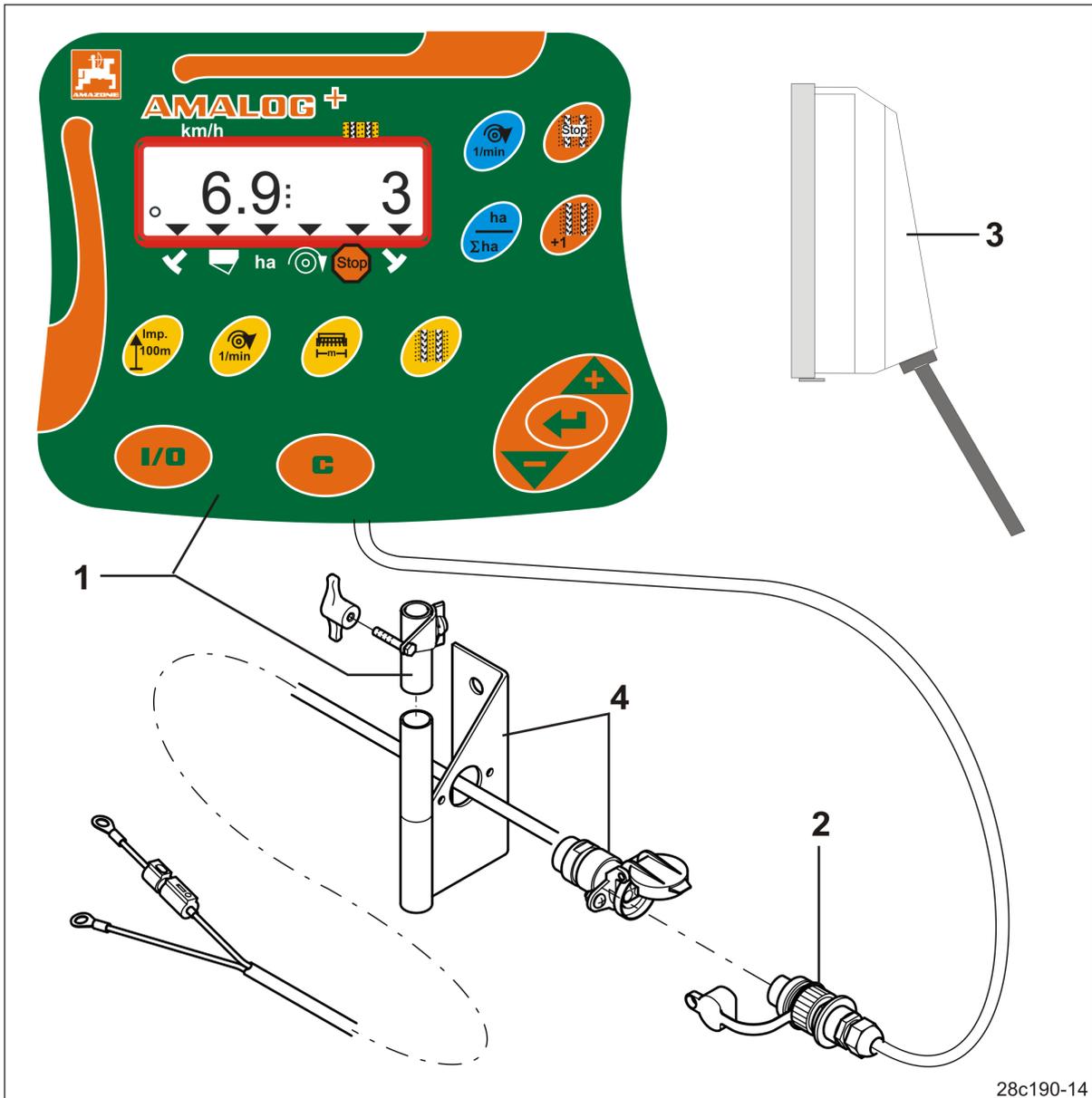


注記

操作のヒントや特に役立つ情報を示します。

これらの指示は、お使いの機械のすべての
機能を最大限に活用するのに役立ちます。

3 製品の説明



28c190-14

図 1

標準装備 図 1/...

- (1) 固定コンソールを備えた操作端末
- (2) 電気ソケット接続部 12V
- (3) 20 ピンのプラグを備えたケーブルハーネス

オプション装備 図 1/...

- (4) バッテリー接続ケーブルを備えたコンソール
1 個のソケットまたは 2 個のソケットを装備したものいずれかを選択

3.1 意図された用途での使用

この操作端末は、農業分野での表示装置または監視装置として、一般的な使用のみを目的に設計されています。

「使用目的」にはこの取扱説明書のすべての注意事項を守ることも含まれます。

以上で指定されたのとは異なる使い方は、禁止されており、不適切なものと見なされます。

不適切な使用によって生じた一切の損害については、

- オペレーターだけが責任を負います。
- AMAZONEN-WERKE は責任を負うことはできません。

3.2 CE マーク

CE マーク (図 2) は、有効な EU ガイドラインの規定を遵守していることを表します。



図 2

電気系統

バッテリー電圧: 12 V (ボルト)

4 構造と機能

次の章では、操作端末の構造と個々の構成部品の機能について説明します。

操作端末には 6 桁のディスプレイがあります (図 3/1)。

操作端末は、データを保存するための EEPROM (メモリチップ) を備えています。

長時間車載電源を OFF にした後も、データは次回使用時に再び使用できます。

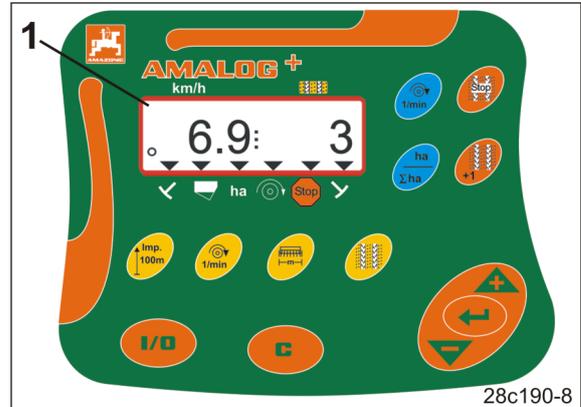


図 3

4.1 ダイレクトシードドリル DMC Primera (プリメーラ) の運転

肥料用タンクで肥料が設定された最小量に達すると、操作端末はアラームを発します。

4.2 ロータリーカルチベータの運転

操作端末は、過負荷クラッチの機能を監視します。
ツールキャリアが停止すると、アラーム音が鳴ります。

4.3 シードドリルの運転

AmaLog+ は、

- 作業済みの部分面積 [ha] を検出します。
- 作業済みエリアの合計面積 [ha] を保存します。
- 走行速度 [km/h] を表示します。
- ترامラインスイッチと ترامラインマーキング装置を制御します。
- 油圧作動式トラックマーカの位置を表示します。
- タンク内の設定された必要最小量に達したことをアラーム通知します
(充填レベルセンサが必要)。

4.3.1 カムホイールシードドリルの運転

ترامラインスイッチを備えるシードドリルの場合、AmaLog+ は副軸のドライブを監視します (図 4/1)。

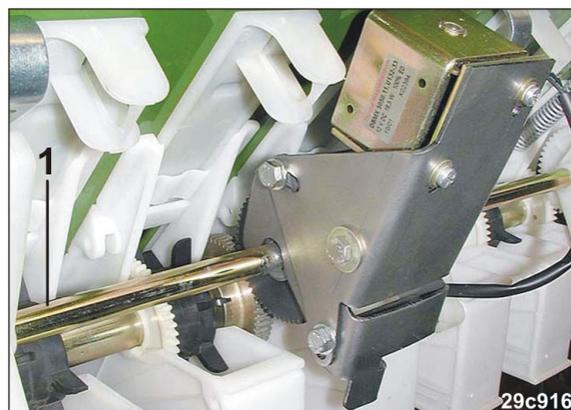


図 4

4.3.2 空圧式シードドリルの運転

AmaLog+ は、分配器ヘッド (図 5/1) 内のトラムラインスイッチを監視します。スライダの位置が正しくないとアラーム音が鳴ります。



図 5

AmaLog+ は、ファン回転数を監視します。

実際回転数が規定回転数と 10 % 以上異なる場合、信号音が鳴り、ディスプレイでは回転数記号 (図 6/2) の上に制御記号 (図 6/1) が点滅表示されます。

シードドリルが稼働している場合のみ、回転数監視はアクティブです。



図 6

4.4 作業表示

作業表示 (図 7) は距離センサの最初のインパルスの際に現れます。

作業中に円記号 (図 7/1) が点滅すると、

- 操作端末は、距離センサのインパルスを受信しています。
- 操作端末は、正常に機能しています。

作業表示は作業状況に応じて異なります [表 (図 8) を参照]。

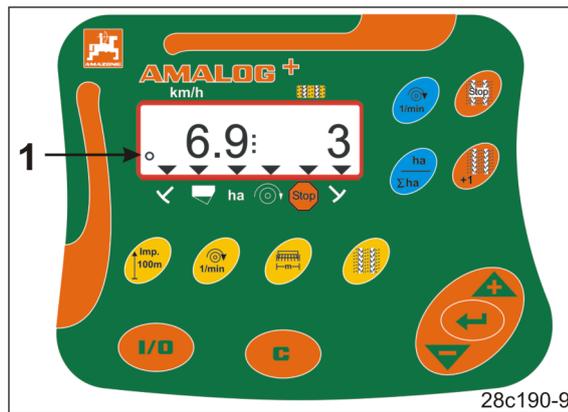


図 7

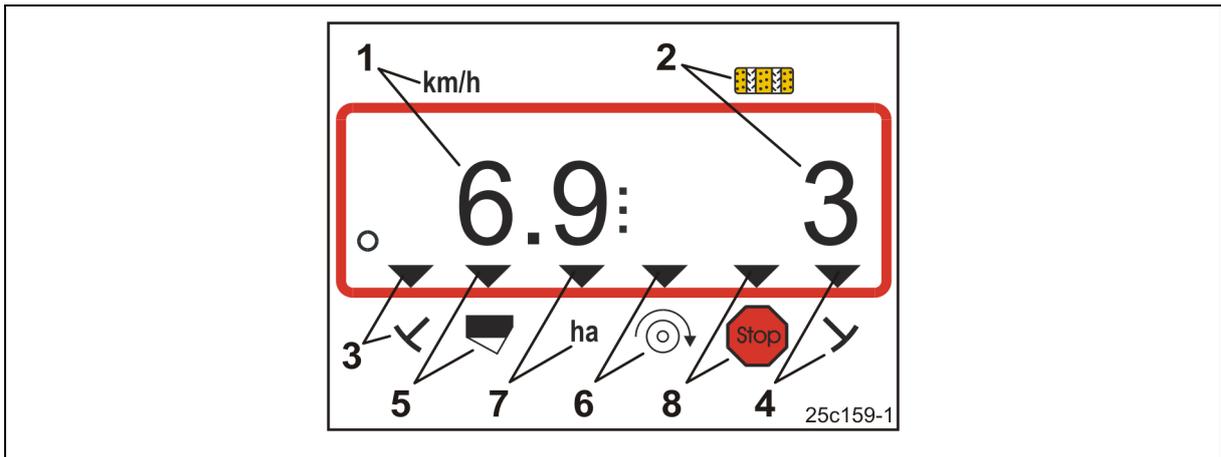


図 8/...	表示および/または制御記号		センサ
1	走行速度 [km/h]		距離センサのインパルス
2	トラムラインカウンタの位置		操作端末のデータ
3 または 4	制御記号	作業位置にある 左側トラックマーカ	トラックマーカセンサなどの インパルス
	制御記号	作業位置にある 右側トラックマーカ	
異常時の自動表示:			
5	制御記号	タンクの補充	充填レベルセンサのインパルス
6	制御記号	ファン回転数の誤差、10% を 超過	ファンセンサのインパルス (空圧式シードドリル)
ファンクションキーで呼び出す表示:			
7	制御記号	作業済みエリア [ha]	距離センサのインパルス
8	制御記号	トラムラインカウンタの ブロック	手動入力

図 8

4.5 キーの割り当て

キー	キーの割り当て	キー	キーの割り当て
	ON / OFF		修正キー
	データ入力確定		
	表示値の削減		表示値の増加
	作業幅 [m] の 入力/表示		長さ 100 m の測定区間の 土壌に応じたインパルス数の 入力/表示
	ファン規定回転数の 入力/表示 [1/min.]		トラムラインリズムの入力
[キーは黄色]			トラムラインカウンタの 切り替え
	トラムラインカウンタのブロッ ク		キーを押して選択 以下の表示
	ファン回転数の 表示		<ul style="list-style-type: none"> 作業済み部分面積 [ha] 作業済み総面積 [ha] 作業表示への切り替え
[キーは青]			

図 9

4.6 トラムライン作成

トラムラインスイッチにより、シードドリルの取扱説明書に従い、事前選択した間隔で圃場にトラムラインを形成できます。

トラムライン作成時

- トラムラインカウンタは、操作端末に数字「0」を表示します
- トラムラインコールタは、種子を地面に撒きません。

必要なトラムラインリズムは、希望するトラムライン間隔およびシードドリル作業幅によって決まります（シードドリルの取扱説明書を参照）。すべての設定可能なトラムラインリズムが、「設定可能なトラムラインリズムの表」の章、39 ページに記載されています。トラムラインリズムは、制御端末に入力する必要があります（「トラムラインリズムの表示/変更」の章、26 ページを参照）。

操作端末は、以下の場合にトラムラインカウンタでトラムラインをカウントします。

- トラックマーカの操作後、圃場終端での方向転換前など
- 機械（トラックマーカなし）の上昇後、例えば圃場終端で方向転換する際

トラムラインカウンタは、次の場合にブロックできます

（「トラムラインカウンタのブロック」の章、31 ページを参照）。

- トラックマーカを上昇させる前（障害物の前などで）
- 機械（トラックマーカなし）の停止前、圃場での作業中断時など



作業再開前に

- トラムラインカウンタを有効にします。
- トラムラインカウンタの表示を確認します。

構造と機能

トラムラインの作成については、図 (図 10) でいくつかの例を用いて説明しています。

- A = シードドリルの作業幅
- B = トラムライン間隔
(= ブロードキャスター/スプレーヤーの作業幅)
- C = トラムラインリズム (操作端末で入力)
- D = トラムラインカウンタ
(作業中、圃場の走行回数はカウントされ、操作端末に表示されます)。

A	B	C	D
			START DÉPART
3,0 m 4,0 m 6,0 m 8,0 m 9,0 m	9 m 12 m 18 m 24 m 27 m	3	
2,5 m 3,0 m 4,0 m 4,5 m 6,0 m 8,0 m 9,0 m	10 m 12 m 16 m 18 m 24 m 32 m 36 m	2	
2,5 m 3,0 m 4,0 m 4,5 m 6,0 m 8,0 m 9,0 m	10 m 12 m 16 m 18 m 24 m 32 m 36 m	4	
3,0 m 3,5 m 4,0 m 6,0 m 8,0 m	15 m 17,5 m 20 m 30 m 40 m	5	
2,5 m 3,0 m 3,5 m 4,0 m 4,5 m 6,0 m 8,0 m	15 m 18 m 21 m 24 m 27 m 36 m 48 m	6	
3,00 m 3,43 m 4,00 m 6,00 m	21 m 24 m 28 m 42 m	7	
2,5 m 3,0 m 3,5 m 4,0 m	20 m 24 m 28 m 32 m	8	
3,0 m 4,0 m	27 m 36 m	9	
2,5 m 3,0 m 3,5 m 4,0 m 4,5 m 6,0 m 8,0 m	15 m 18 m 21 m 24 m 27 m 36 m 48 m	21	

25c131-5

図 10

5 運転開始

5.1 操作端末の取り付け

1. コンソール (図 11/1) は振動の影響を受けないように、そして導電性を考慮して、トラクターキャビン内のドライバー右側の、端末 (図 11/2) から視覚的に遮られることのない、容易に手が届く位置に取り付けます。

ラジオ機器やアンテナからは 1 m 以上離してください。



操作端末は、コンソールを介してトラクターのシャシーへの導電性が確保されていなければなりません！

コンソールを取り付ける前に、取り付け箇所の塗料を取り除いてください！

2. 操作端末に連結パーツ (図 11/3) を装着します。

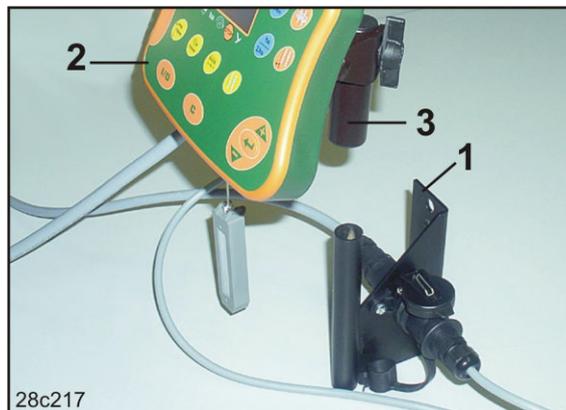


図 11

5.2 操作端末の接続

1. 連結パーツ (図 12/1) をコンソールに差し込み、蝶ネジ (図 12/2) で締め付けます。

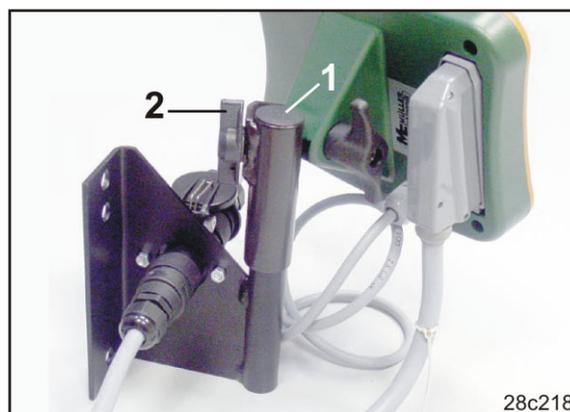


図 12

2. 電力ケーブル (図 13/1) をコンソールと 12V トラクターソケットに差し込みます。
3. コンソールと操作端末を電力ケーブル (図 13/2) で接続します。
4. シードドリルまたは整地用機械をトラクターに連結します (シードドリルまたは整地用機械の取扱説明書を参照)。
5. 機械ケーブル (図 13/3) をトラクターのキャビンまで引いて、機械プラグを操作端末に差し込みます。

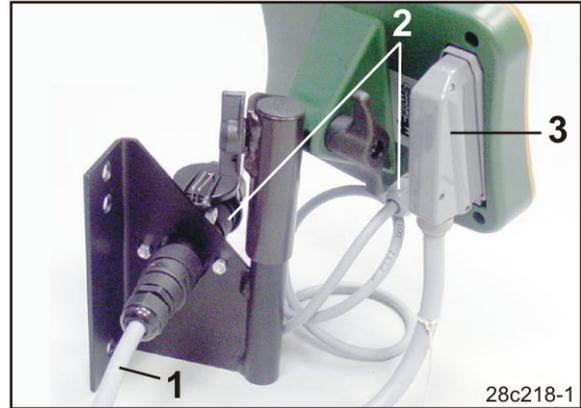


図 13



機械プラグは、操作端末から不意に抜けることがないように、ばね式レバーで固定されています。機械プラグを外す前に、レバーを操作してください。

5.3 操作端末の ON/OFF



キーを押して、操作端末を ON および OFF にします。

機械固有のデータを入力します (「設定」の章、24 ページを参照)。操作端末を再度 ON にすると、データが再び使用可能になります。

別のタイプのシードドリルを使用する前に、機械固有のデータを操作端末に入力してください。

操作端末を ON にすると、操作端末のソフトウェアバージョンが短時間表示されます。

例えばトラクターの始動時などに、供給電圧が 10 ボルト未満になると、操作端末は自動的に OFF になります。

6 設定

6.1 機械データの入力

操作端末は、コード化された機械データの入力を必要とします（図 14 を参照）。

機械データを表（「機械データ表」の章、37 ページを参照）から読み取ってください。

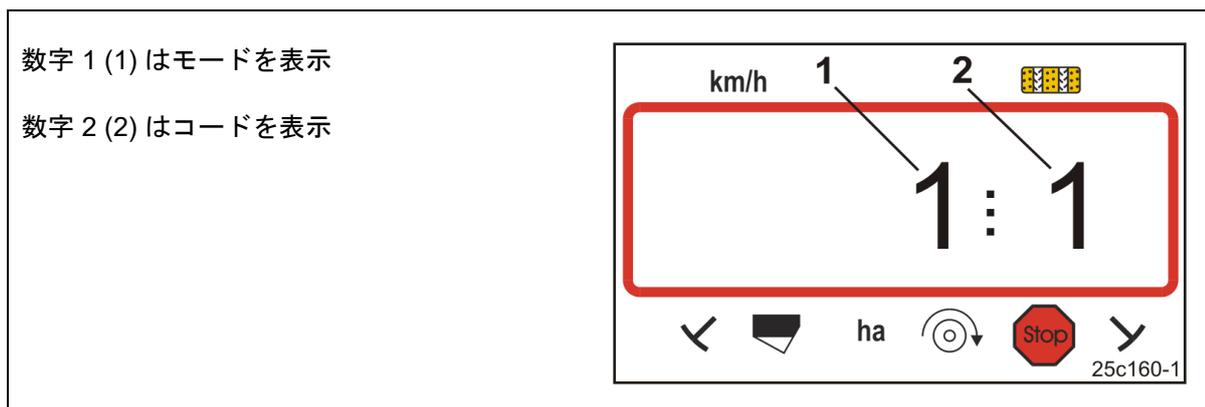


図 14

必要なモード 1、2、3、.....、を開き、コード化された機械データを入力します。

1.  キーを押し続けます。
 2.  キーを押します。
- モード 1 を開きます（図 14 を参照）。
3.  キーを押します
- 希望するモード [表 (機械データ表)、37 ページを参照] を選択します。
4. コード [表 (機械データ表)、37 ページを参照] を  および  キーで設定します。
5.  キーを押します。
- コードを保存します。

6.2 作業幅の表示 / 変更

1.  キーを押します。
→ 表示: 保存された作業幅 [m], 3.0 m (図 15) など。
2.  および  キーで作業幅 [m] を変更。
3.  キーを押します。
→ 選択した値を保存します。



図 15

6.3 規定ファン回転数の表示 / 変更 (停止時)

この設定は空圧式シードドリルでのみ可能です。

1.  キー (黄色) を押します。
→ 表示: 規定ファン回転数 [1/min.]
2.  および  キーで規定ファン回転数を変更
3.  キーを押します。
→ 選択した値を保存します。

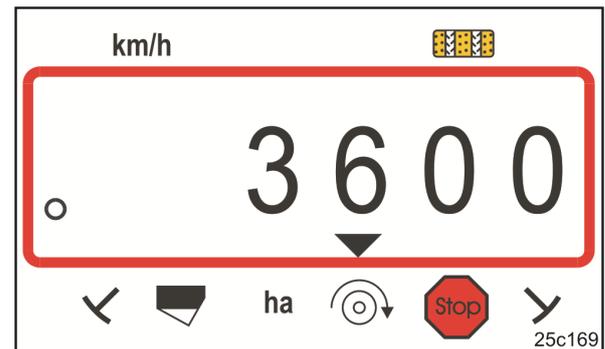


図 16



ファン回転数の監視を OFF にする:
規定ファン回転数を「0」に設定します。

6.4 規定ファン回転数の表示/変更（作業中）

この設定は空圧式シードドリルでのみ可能です。

1.  キー（青色）を押します。
- 表示 (図 17)
現在のファン回転数
(3600 [1/min.] など)

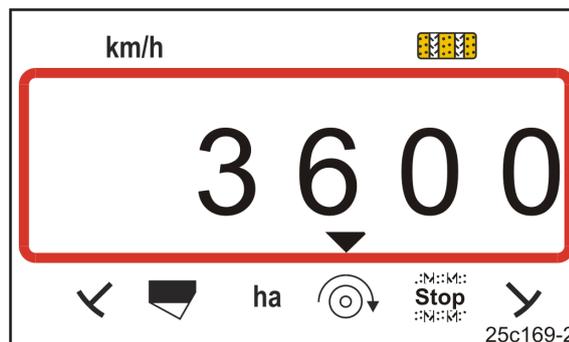


図 17

2.  キーと  キー（黄色）を同時に押します。
 3.  キーを押します。
- 選択した値を保存します。

6.4.1 トラムラインリズムの表示/変更

1.  キーを押します。
- 表示:
保存されたトラムラインリズム、
例 7 (図 18)
2. トラムラインリズムを  および  キーで変更。
 3.  キーを押します。
- 選択した値を保存します。

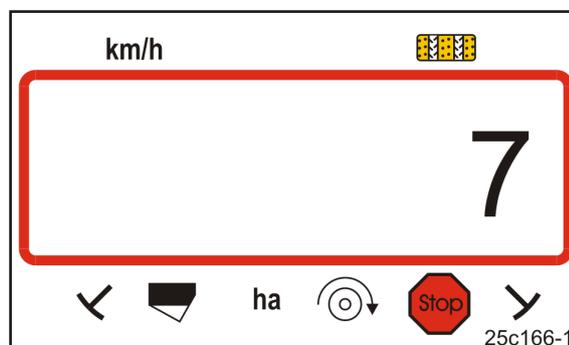


図 18

6.5 キャリブレーション値（100 m あたりインパルス）

操作端末は、次のためにキャリブレーション値「100 m あたりインパルス」を必要とします。

- 走行速度 [km/h] の検出
- 作業済み面積 [ha] の検出。

キャリブレーション値「100 m あたりインパルス」が不明の場合は、キャリブレーション走行（「キャリブレーション値（100 m あたりのインパルス）の検出 / 保存」の章、27 ページを参照）を行って、このキャリブレーション値を検出してください。

キャリブレーション値は、圃場において一般的な使用条件下で検出しなければなりません。

キャリブレーション値「100 m あたりインパルス」が分かっている場合は、これを手動で入力できません（「保存されたキャリブレーション値（100 m あたりのインパルス）の表示/変更」の章、28 ページを参照）。

キャリブレーション値を次の場合に検出してください。

- 初回使用前
- 重い土壌から軽い土壌に変わる場合、およびその逆の場合。土壌の種類が変化する場合、測定ホイールまたはドライブホイールの滑り具合は変化し、それによりキャリブレーション値 (Imp./100 m) が変わる場合があります。
- 操作端末を異なるタイプの機械に接続する場合
- 表示された走行速度と実際の走行速度が異なる場合
- 検出された作業済み面積と実際の作業済み面積が異なる場合

6.5.1 キャリブレーション値（100 m あたりのインパルス）の検出 / 保存

1. 圃場でちょうど 100 m の測定距離を計測します。
測定距離の開始地点と終了地点をマークします。
2. トラクターを開始位置 (図 19) に、シードドリルを作業位置にセットします（種子のドーピングは必要に応じて中断します）。

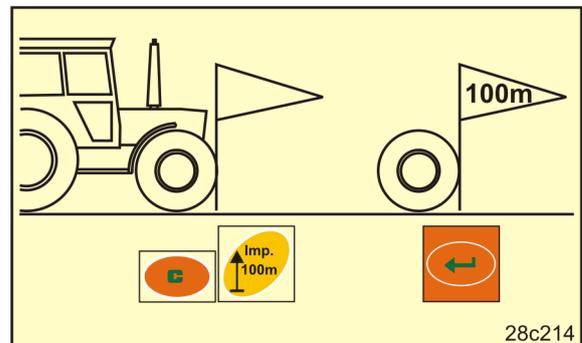


図 19

3.  キーを押し続けます。

4.  キーを押します。

→ ディスプレイは「0」を表示します。

5. 始動します。

→ ディスプレイはインパルスを表示します。



キャリブレーション走行時にはキーを押さないでください。

設定

6. ちょうど 100 m 後に停止します。
- ディスプレイ (図 20) はキャリブレーション値 (1005 Imp./100 m など) を表示します。
7. 検出されたキャリブレーション値は、表 (43 ページ) に入力できます。

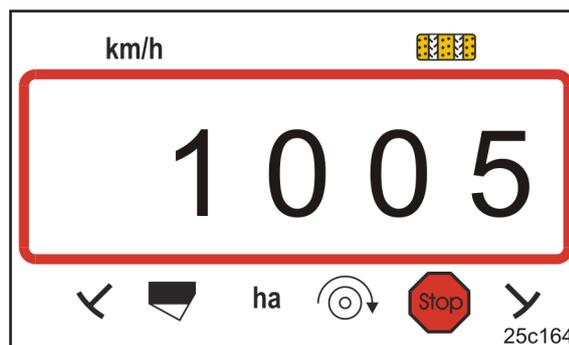


図 20

8.  キーを押します。
- キャリブレーション値 (Imp./100 m) を保存します。



キャリブレーション値 (Imp./100 m) は 250 を下回ってはいけません。

さもないと操作端末は正常に動きません。

6.5.2 保存されたキャリブレーション値 (100 m あたりのインパルス) の表示/変更

1. 機械を停止します。
2.  キーを押します。
- 表示:
保存されたキャリブレーション値 (Imp./100 m)
1053 (図 21) など。

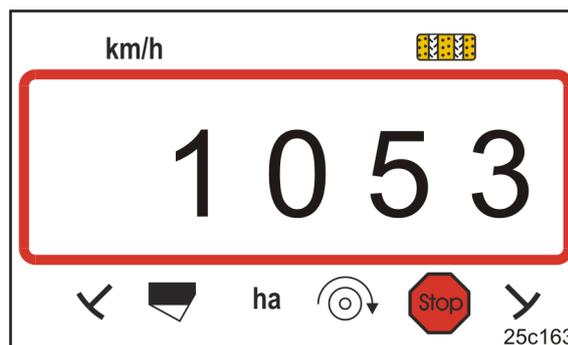


図 21

3. 保存されたキャリブレーション値 (Imp./100 m) を
 および  キーで変更します。
4.  キーを押します。
- 選択した値を保存します。

6.5.3 クランク回転数をキャリブレーションテスト用に計算

キャリブレーション値が表の値（9.3 章、40 ページを参照）と異なる場合、

- キャリブレーションテスト用にクランク回転数を新たに計算してください（下記参照）。
- クランク回転数を表（43 ページを参照）に入力してください。
- 計算したクランク回転数でキャリブレーションテストを実行してください（シードドリル取扱説明書を参照）。

$\text{クランク回転数} = \text{クランク回転数 (表から)} \times \frac{\text{算出されたキャリブレーション値 [Imp./100 m]}}{\text{表のキャリブレーション値 [Imp./100 m]}}$

次に、算出されたクランク回転数を用いて、キャリブレーションテストを実行してください。

例：

シードドリル： Cataya（カタヤ）3000

作業幅： 3.0 m

クランク回転数（表の値、9.3 章を参照） 18.5

キャリブレーション値 Imp./100 m（表の値、9.3 章を参照）： 636 (Imp./100 m)

キャリブレーション値 Imp./100 m（検出）： 688 (Imp./100 m)

$$\text{クランク回転数} = 18.5 \times \frac{688 \text{ [Imp./100 m]}}{636 \text{ [Imp./100 m]}} = 20.0$$

この例では、クランク回転数 20.0 でキャリブレーションテストを実行してください。

7 作業開始

1. 機械を開始位置（停止状態）にセットします。

停止状態での表示:

数字 1 (図 22/1) は
走行速度 (0 km/h) を表示。

数字 2 (図 22/2) は
トラムラインカウンタ 4 を表示。

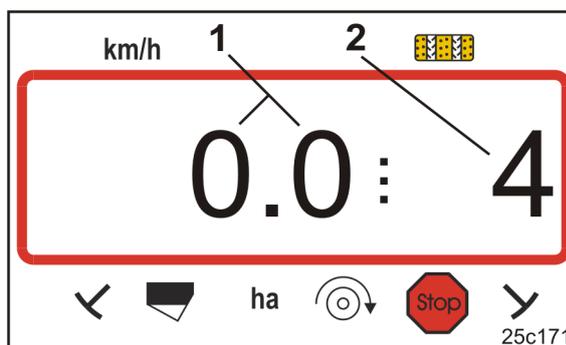


図 22

2. 適切なトラックマーカを下降させます（シードドリルの取扱説明書を参照）。



トラムラインスイッチは、トラックマーカスイッチと接続していることがあります。

トラックマーカの操作時に、トラムラインカウンタはカウントする場合があります。

3. トラムラインカウンタを設定します（「トラムラインカウンタの設定」の章、31 ページを参照）。
4. 部分面積メモリを削除します（「部分面積メモリの削除」の章、32 ページを参照）。



部分面積メモリの削除は必ず必要というわけではありません。

5. 始動します。

7.1 ترامラインカウンタ

7.1.1 ترامラインカウンタの設定

正しい ترامラインカウンタが表示されるまで、 キーを繰り返し押します
 [例： ترامラインカウンタ 2、21 ページ、図 10、「START」と書いてある下を参照]

7.1.2 ترامラインカウンタのブロック



キーを押します。

- ترامラインカウンタの切り替えはブロックされています。
- ディスプレイで、 ترامラインカウンタの数字 (図 23/1) が点滅します。
- 制御記号 (図 23/2) は停止記号をマークします。

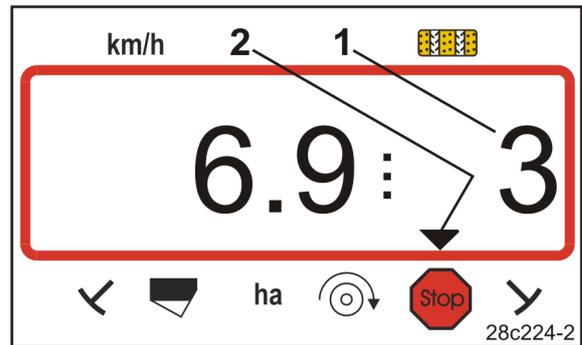


図 23



キーを押します。

- ترامラインカウンタは再びアクティブになっています。

7.2 作業済みエリア

7.2.1 部分面積の表示



キーを押します。

- 表示 (図 24) :
作業済みの部分面積 (10.5 ha など)。



図 24

7.2.2 部分面積メモリの削除

1.  キーを押し続けます。

2.  キーを押します。

→ 部分面積メモリを 0 [ha] にします。

3.  キーを押します

→ 作業表示 (図 26) に戻ります。

7.2.3 総面積の表示

1.  キーを 2 回押します。

→ 表示 (図 25) :
作業済みの総面積 (105.1 ha など)。



データを削除できません。

2.  キーを押します。

→ 作業表示 (図 26) に戻ります。

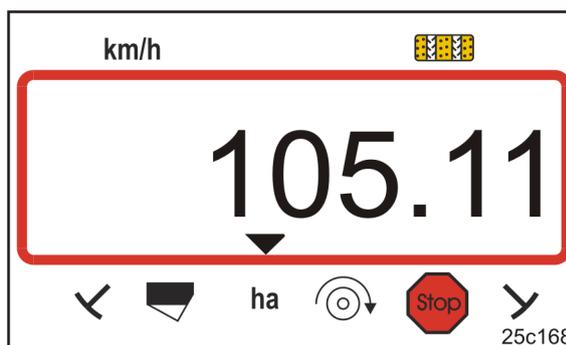


図 25

7.3 作業中の表示

作業中の AmaLog+ 表示

- 走行速度 (図 26/1)
(6.9 km/h など)。
- トラムラインカウンタ (図 26/2) の
スイッチ位置
(スイッチ位置 3 など)。
- 作業位置にある左側
トラックマーカ (図 26/3)。
- 上昇している右側
トラックマーカ (図 26/4)。

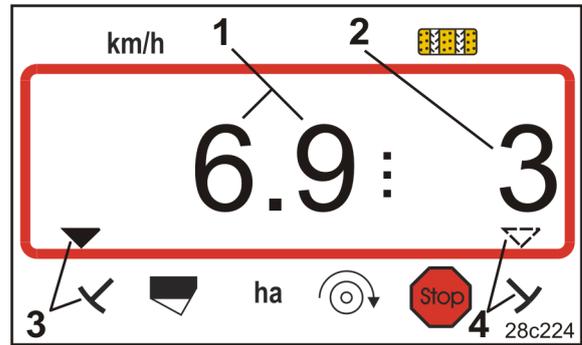


図 26



トラムラインカウンタのカウント時には、カウント音が鳴ります。

7.4 ファンクションキー

ファンクションキーを操作すると、播種作業中にデータがおおよそ 10 秒間表示されます。

7.4.1 現在のファン回転数の表示

この表示は空圧式シードドリルでのみ
可能です。



キー (青色) を押します。

- 表示 (図 27):
現在のファン回転数
(おおよそ 3600 [1/min.])

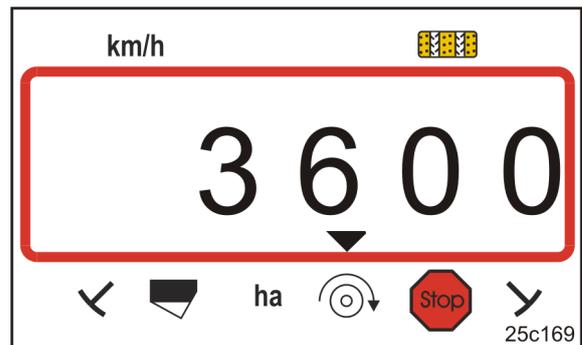


図 27



大面積シードドリル Primera (プリメーラ) DMC がファンを 2 つ備えている場合、両方のファン回転数が 10 秒ごとに交互に表示されます。

8 障害

8.1 故障表示 A3

トラムラインのエラー通知

トラムラインでエラーが生じると、

- 表示 (図 28) が行われます。
- 信号音が鳴ります。

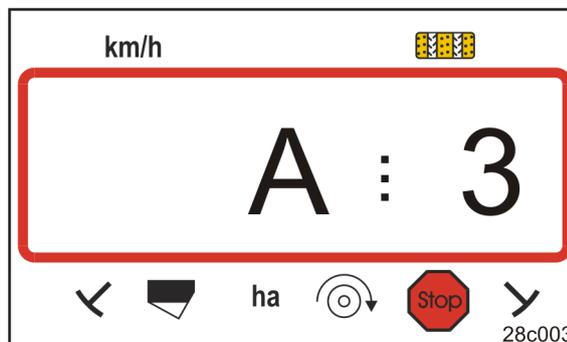


図 28

8.2 故障表示 A4

アクティブな整地用機械

(ロータリーカルチベータなど) の
プロペラシャフトが停止した際の
アラーム通知

アクティブな整地用機械のプロペラシャフトで
過負荷クラッチが反応すると、操作端末はアラ
ームを発します。

プロペラシャフト停止時には、

- 表示 (図 29) が行われます。
- 信号音が鳴ります。

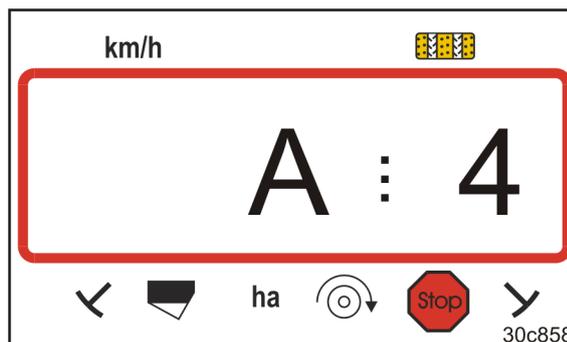


図 29

8.3 故障表示 A5

アラーム通知

- 種子不足している場合
 - 充填レベルセンサを備えた機械の場合
- 種子シードシャフトの機能エラー時
 - DMC Primera（プリメーラ）、Condor（コンドル）および Citan（シタン）01 の場合のみ
 - 種子充填レベルとシードシャフトの監視システムが組み合わされた機械の場合のみ

アラーム通知時には

- 表示 (図 30) が行われます。
- 信号音が鳴ります（信号音 3 回）。

種子不足している場合、表示が切り替わります。

制御記号 (図 31/1) は充填レベル記号をマークします。

例えば圃場終端での方向転換後に機械を再び使用すると、アラームが再び出力されます。

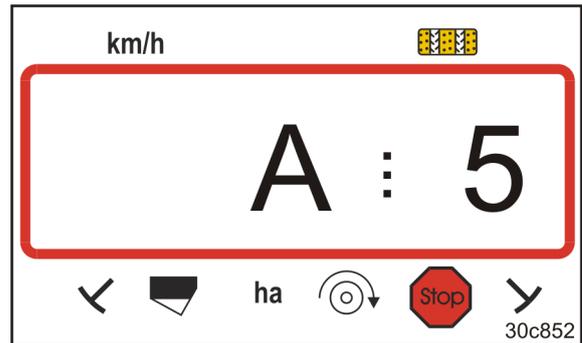


図 30

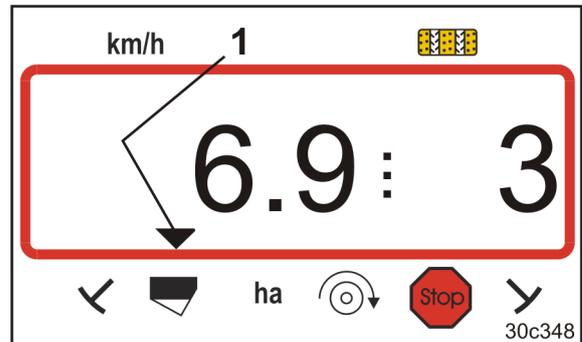


図 31

8.4 故障表示 A6 (DMC Primera (プリメーラ)、Condor (コンドル) および Citan (シタン) 01 のみ)

アラーム通知

- 肥料不足時
- 肥料シードシャフトの機能エラー時

アラーム通知時には

- 表示 (図 32) が行われます。
- 信号音が鳴ります (信号音 3 回)。

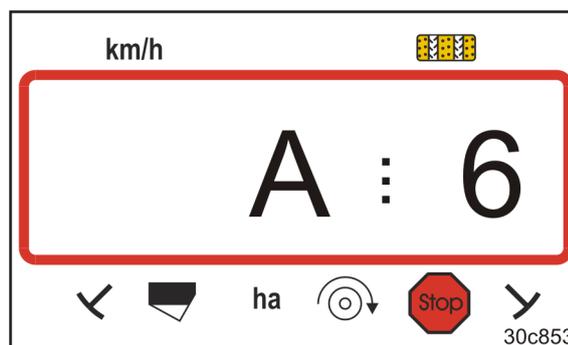


図 32

肥料が不足している場合、表示が切り替わります。

制御記号 (図 33/1) は充填レベル記号をマークします。

例えば圃場終端での方向転換後に機械を再び使用すると、アラームが再び出力されます。

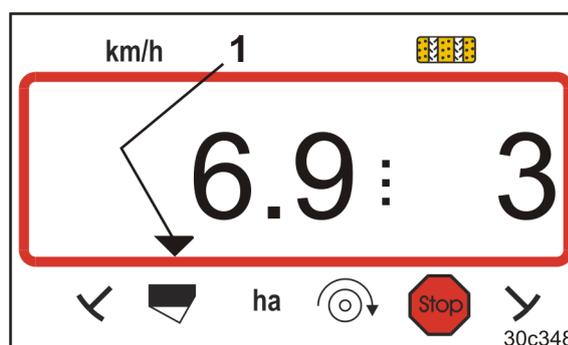


図 33

アラーム通知の OFF

1.  キー (青色) を押し続けます。
 2.  キーを押します
- 警告通知は OFF になりました。



アラーム通知は、アラーム作動後にのみ OFF にできます。
アラーム OFF は、操作端末を OFF にするまで有効です。

9 表

9.1 機械データ表

モード 1	コード	操作端末の機能を有効化
	1	操作端末のすべての機能を有効化
	2	操作端末のヘクタールカウンタのみを有効化
モード 2	コード	トラックマーカースенсаの数
	0	<p>2 個のトラックマーカースенсаを備えた機械 2 個のトラックマーカースенса (図 34/1) を備えた フロントタンクコンビネーションシーダーなど。</p>  <p>図 34</p>
	1	<p>油圧バルブ (図 35/1) に 1 個のトラックマーカースенсаを 備えた機械</p>  <p>図 35</p>
		<p>自動スイッチ (図 36/1) に 1 個のトラックマーカースенсаを 備えた機械</p>  <p>図 36</p>
2 ~ 99	<p>次の</p> <ul style="list-style-type: none"> トラックマーカースенсаを備えているがトラックマーカースенсаがない機械の場合 トラックマーカースенсаもトラックマーカースенсаもない機械の場合 <p>2 ~ 99 の数字は、停止（ギアの停止）とトラムラインカウンタのカウンタ実行の間の、時間（秒）に相当します。</p> <p>トラックマーカースенсаがないシードドリルの場合、ギアが停止した後（圃場の終端での方向転換時にシードドリルを上昇させた後など）に設定時間が経過すると、直ちにトラムラインカウンタが切り替わります。</p> <p>設定時間内の短時間の停止の場合は、トラムラインカウンタでカウントされません。</p>	

モード 3	コード	機械タイプ
モード 3	0	カムホイールシードドリル D9 Super/Special (スーパー/スペシャル) D9 6000 TC AD Cataya (カタヤ) Special (スペシャル)
	3	シードシャフト監視システムを備えたカムホイールシードドリル D9 Super/Special (スーパー/スペシャル) D9 6000 TC AD Cataya (カタヤ) Special (スペシャル)
	1	空圧式シードドリル AD-P Citan (シタン) 6000
	2	空圧式シードドリル 2つの別々のタンクとシードシャフト監視システムを装備 Citan (シタン) 01 Condor (コンドル) DMC Primera (プリメーラ)
	4	空圧式シードドリル シードシャフト監視あり AD-P DMC Primera (プリメーラ)
	モード 4	コード
モード 4	00	アラームは OFF
	10	空圧式シードドリルの設定 (10 秒)
	22	カムホイールシードドリル用の設定 (22 秒)
モード 5	コード	アラームが作動してはいけない時間 <ul style="list-style-type: none"> カムホイールシードドリルの場合 トラムライン作成コマンドと副軸停止の間 空圧式シードドリルの場合 トラムライン作成コマンドと分配器ヘッドの流出口遮断の間
	00	この設定は行わないでください (0 秒)
	10	空圧式シードドリルの設定 (10 秒)
	22	カムホイールシードドリル用の設定 (22 秒)
モード 6	コード	ロータリーカルチベータの監視
	0	ロータリーカルチベータの監視なしの設定
	1	ロータリーカルチベータ監視ありの設定

9.2 設定可能なトラムラインリズムの表

	トラムラインリズム														
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
トラムラインカウンタ、操作端末で制御および表示	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	
	1	0	1	1	1	1	1	1	1	2	0	1	1	1	
		1	2	2	2	2	2	2	2	3	3	2	2	2	
		2		3	3	3	3	3	3	0	4	3	3	3	
					4	4	4	4	4	5	5	4	4	4	
						5	5	5	5	6	6	5	5	5	
							6	6	6	0	7	6	6	6	
								7	7	8	8	7	7	7	
									8	9	0	8	8	8	
										10	10	9	9	9	
												10	10	10	
													11	11	11
														12	12
															13

図 37

	トラムラインリズム													
	15*	16	17	20	21	22	23	26	32					
トラムラインカウンタ、操作端末で制御および表示	1	0	0	0	0	0	0	0	0					
		1	1	1	0	0	0	1	0					
		2	2	2	1	1	1	2	1					
		3	3	3	2	2	2	3	2					
		4	4	4	3	3	3	4	3					
		5	5	5	4	4	4	5	4					
		6	6	6		5	5	6	5					
		7	7	7		6	6	7	6					
		8	8	8			7	8	7					
		9	9	9			8	9	8					
		10	10					10	9					
		11	11						10					
		12	12											
		13	13											
		14	14											
		15	15											
			16											

* トラムラインは作成されません

図 38

9.3 キャリブレーション値 / クランク回転数の表 (基準値)



この章にある表の値は基準値です。

実際のキャリブレーション値 (Imp./100 m) が表の値と異なる場合には、キャリブレーションテスト用のクランク回転数も変化します。

検出したキャリブレーション値は表 (図 39) に入力できます。

機械式の播種技術

取付型シードドリル D9 Super/Special (スーパー/スペシャル)	作業幅	2.5 m	3.0 m	3.5 m	4.0 m	6.0 m
タイヤ	キャリブレーション値 (Imp./100 m)	クランク回転数 1/40 ha				
6.00 - 16 180/90 - 16	740	46.0	38.5	33.0	—	—
10.0/75 - 15	711	—	—	—	28.0	18.5

牽引するシードドリル	作業幅	6.0 m
	キャリブレーション値 (Imp./100 m)	クランク回転数 1/40 ha
D9 6000 TC	648	17.0

搭載型シードドリル (機械式)	作業幅	2.5 m	3.0 m	3.5 m	4.0 m
	キャリブレーション値 (Imp./100 m)	クランク回転数 1/40 ha			
AD 25/3000 Special (スペシャル) AD 30/35/4000 Super (スーパー)	617	27.0	22.5	19.0	17.0

搭載型シードドリル Cataya (カタヤ) 3000 Special (スペシャル) スターホイールドライブ 付き	作業幅	3.0 m
設置された ローラーチェーン	キャリブレーション 値 (Imp./100 m)	クランク回転数 1/40 ha
Z = 16	299	18.5
Z = 34	636	18.5
Z = 50	935	18.5

空圧式の播種技術

搭載型シードドリル (空圧式)	作業幅	2.5 m	3.0 m	3.5 m	4.0 m
	キャリブレーション値 (Imp./100 m)	クランク回転数 1/40 ha			
AD-P 03 Special (スペシャル) スターホイールドライブ付き	1409	—	38.5	33.0	29.0
AD-P 03 Super (スーパー) スターホイールドライブ付き	1575	—	29.5	—	22.0

大面積用シードドリル	Citan (シタン) 8000	Citan (シタン) 9000	Citan (シタン) 12000
クランク回転数 1/40 ha	14.5	13.0	9.5
キャリブレーション値 (Imp./100 m)	1187		

大面積用シードドリル	Citan (シタン) 12001	Citan (シタン) 15001
クランク回転数 1/40 ha	9.5	7.7
キャリブレーション値 (Imp./100 m)	1410	

大面積用シードドリル	Condor (コンドル) 12001	Condor (コンドル) 15001
クランク回転数 1/40 ha	9.5	7.7
キャリブレーション値 (Imp./100 m)	1410	

大面積用シードドリル DMC	Primera (プリメ ーラ) 3000	Primera (プリメ ーラ) 4500	Primera (プリメ ーラ) 602	Primera (プリメ ーラ) 9000	Primera (プリメ ーラ) 12000
クランク回転数 1/40 ha	68.0	45.3	34.0	22.7	16.8
キャリブレーション値 (Imp./100 m)	1023				

表

旧バージョンの機械

搭載型シードドリル (機械式)	作業幅	2.5 m	3.0 m	4.0 m
	キャリブレーション 値 (Imp./100 m)	クランク回転数 1/40 ha		
AD 03	617	27.0	22.5	17.0
RP-AD 03	672	59.0	49.0	37.0

搭載型シードドリル (空圧式)	作業幅	2.5 m	3.0 m	4.0 m
	キャリブレーション 値 (Imp./100 m)	クランク回転数 1/40 ha		
AD-P 02 スターホイール Ø 1.18 付き	1053	27.0	22.5	17.0
RPAD-P 02	1175	59.0	49.0	37.0



AMAZONEN-WERKE

H. DREYER SE & Co. KG

Postfach 51
D-49202 Hasbergen-Gaste
Germany

Tel.: + 49 (0) 5405 501-0
e-mail: amazone@amazone.de
http:// www.amazone.de

